

## ～ 福岡日伊協会映画鑑賞会のご案内 ～

第143回上映作品

### 追悼トニー・グェッラ『予告された殺人の記録』

脚本家トニー・グェッラが亡くなりました。

フェデリコ・フェリーニ、ミケランジェロ・アントニオーニ、ピットリオ・デ・シーカ、ジュゼッペ・トルナトーレ、テオ・アンゲロプロス。そして、フランチェスコ・ロージ。他にも沢山の監督の脚本を手掛け、作品を一段と面白いものに変えていく一翼を担っていました。

1902年、フェリーニの故郷リミンに近いサンタルカンジェロで生まれ、大学で教育学を学んだ後、作家・詩人になりました。1953年から脚本家として映画の仕事を始めます。ジュゼッペ・デ・サンティスやエリオ・ペトリなどと仕事をした後、若い監督たちの脚本に協力し、特にM・アントニオーニやF・ロージの作品には欠かすことのできない存在で緊密な関係が続いていました。近年は、タビアーニ兄弟、アンドレイ・タルコフスキーとも良い関係でした。ノーベル賞作家、G・ガルシア、マルケス「予告された殺人の記録」をフランチェスコ・ロージが映画化、もちろん脚本はトニー・グェッラです。

町の間人は皆、殺人が起きることを知っていながら殺される人間だけがそれを知らなかった。そして……。  
お楽しみに。 (解説:湯越勘一氏)

20時以降 美術館は閉館につき入館できませんのでご注意ください。

館内での飲食は厳禁ですのでご注意ください。

#### データ

監督	/ フランチェスコ・ロージ	出演	/ ジャン＝マリア・ヴォロンテ
原作	/ G・ガルシアニマルケス		ルパート・エヴェレット
脚本	/ トニー・グェッラ		アントニー・ドロソ
撮影	/ パスカリーノ、サンティス	音楽	/ ピエロ・ピッチョーニ
		衣装	/ エンリコ・サバティーニ

1987年 110分

#### 記

日時：2012年6月15日(金) 19:00～21:00

会場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

(福岡市博多区下川端町3-1 ヴァレインセンタービル)

入場料：無料 先着120名(直接会場へお越しください)

問合せ：福岡日伊協会 担当 井口

TEL 092 476-2153 (西日本シティ銀行内)

#### 今後の上映予定

2012年7月27日(金) 19:00 あじびホール

作品 「ミニヨンにハートブレイク」